

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告者

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 | 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2 評価する領域・分野	教務部		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	学習アンケートにおいて、95%以上の生徒が集中して授業に取り組んでいると回答していることから、コロナ禍により授業時間が確保できない中、毎日の授業を教科主任中心に教科担任が工夫した授業を展開し、一人一人の生徒に対して手厚い指導がされていることが分かる。来年度からは、ICT機器の活用が本格化するため、効果的な学習法について考えていきたい。		
4 今年度の具体的なかつ明確な重点目標	(1) 新学習指導要領に対応した、教育課程の再編、授業の工夫・改善に取り組む。 (2) 学習環境を整備した上で、基礎学力の定着を図る取り組みを実施する。 (3) Web利用の広報活動において、効果の大きな利用方法を研究・開拓・実施する。 (4) メソフィアの有効的な活用を図る。 (5) 他の分掌、学年など、すべての部署がスムーズに連携を図れるような環境を整える。		
5 重点目標を達成するための校内組織体制	教務部会、各分掌、学年会、専門部会等との連携強化を図る。		
6 目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) R4年度に向けて教育課程委員会の実施。 (2) Classroomの活用とシステムの構築 (3) ホームページのリニューアルと広報活動の充実。 (4) 学校業務システムの充実 (5) 他分掌との連携強化	(1) 各教科より建設的な意見や要望 (2) Classroom利用度 (3) ホームページの更新数や閲覧数。 (4) 出欠席などの入力状況 (5) 自己評価会議の評価。		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
(1) 各教科の意見・要望を聞いて、R4年度教育課程を作成した。 (2) Classroomの活用。タブレット利用説明会 (3) ホームページ等広報活動の充実のため、他の分掌との連携。 (4) 連絡事項はClassroomを利用 (5) 関係分掌長との打ち合わせの実施。	(1) 将来の関商工の見通し、教育課程に生かすことができたか。 (2) 適切な指導及び支援。 (3) ホームページによる最新の情報提供。 (4) 利用度は高まっているか。 (5) スムーズな連携が図られたか	(1) (A) B C D (2) A (B) C D (3) (A) B C D (4) (A) B C D (5) A (B) C D	
11 成果・課題	○昨年度行った将来ビジョン検討委員会の審議内容を実現していけるよう、管理職や関係分掌と調整を行うことが出来た。 ○令和4年度の新学習指導要領を見据えて、教育課程を完成することが出来た。しかし、商工乗り入れる2単位については、来年度さらに検討の余地がある。 ○商業科進学クラスの将来について、前向きな検討がされた。 ●コロナ禍の影響により、職員、生徒ともに集まれる機会が減少したことで、意思統一がなされていないと感じた。		
12 来年度に向けての改善方策案	ICT機器の導入により、利用研修会や手本となる学習指導案を示し、生徒にとって充実した学習環境整備をしていきたい。また、令和4年度に向けて商工それぞれの利点を生かしていけるような環境を整備する。		
総合評価 A (B) C D			

II 学校関係者評価

実施年月日 令和3年1月25日

【意見・要望・評価等】

学校の魅力を発信する広報活動を行ってほしいというご意見に対して、部顧問・専門部などから広報内容ももらい、リニューアルしたホームページの更新を随時行って、常に新しいニュースを掲載していけるようにしていきたい。